

## 港南富士見台建築協定書

(目的)

第1条 この協定は、建築基準法（昭和25年法律第201号）第69条及びこれに基づく横浜市建築協定条例（昭和31年6月横浜市条例第17号）第2条の規定に基づき、第5条に定める建築協定区域（以下「協定区域」という。）内における建築物の用途、敷地及び形態に関する基準を定め、住宅地としての良好な環境を、高度に維持増進することを目的とする。

(用語の定義)

第2条 この協定における用語の意義は、建築基準法及び建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）に定めるところによる。

(名称)

第3条 この協定は、港南富士見台建築協定と称する。

(協定の締結)

第4条 この協定は、協定区域内の土地の所有者及び建築物の所有を目的とする地上権又は賃借権を有する者（以下「土地の所有者等」という。）の全員の合意によって締結する。

(建築協定区域)

第5条 この協定の目的となる土地の区域は、横浜市港南区下永谷二丁目1658番地1号のほか区域図に示す区域とする。また、建築協定区域隣接地も同図に示す。

(建築物に関する基準)

第6条 協定区域内の建築物の敷地、用途及び形態は、次の各号に定める基準によらなければならない。

(1) 建築物の用途は、一戸建て専用住宅（2世帯同居住宅を含む）、一戸建医院（動物医院を除く）又は一戸建て住宅で建築基準法施行令第130条の3で規定する兼用住宅とする。ただし、区域図に示す区画については、住宅専用の長屋（住戸の数は2戸まで）も建築できるものとする。

(2) 敷地面積は150㎡以上とする。

(3) 敷地の地盤面の変更はできないものとする。ただし次の場合はこの限りでない。

ア 建築物に附属する車庫を築造するための切土及び盛土。

イ 建築物を新築、増築又は改装する際の発生土等による高さ30cm未満の盛土。

(4) 建築物に附属するブロック塀等で、高さが2m以上のものは築造してはならない。

(運営委員会)

第7条 この協定の運営に関する事項を処理するため、港南富士見台建築協定運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、本協定区域内の土地の所有者等の互選により選出された委員若干名によって組織する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は再任されることができる。

(役員)

第8条 委員会に、委員長1名、副委員長2名及び会計1名を置く。

2 委員長、副委員長及び会計は、委員の互選によって定める。

3 委員長は、委員会を代表し、この協定の運営事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が前項の事務を行えないときは、あらかじめ委員長が指定する副委員長がその事務を処理する。

5 会計は、委員会の経理に関する事務を処理する。

6 委員長が選任されたとき又は委員長が変更になったときは、新たに委員長になった者が、速やかにその旨を横浜市長に報告するものとする。

(委任)

第9条 この協定に規定する者のほか、委員会の運営、組織、議事ならびに委員に関して必要な事項は、別に定める。

(違反者に対する措置)

第10条 委員長は、この協定に違反した土地の所有者等（以下「違反者」という。）があったときは、違反者に対し、委員会の決定に基づき、文書をもって工事の施工停止又は相当の有用期限を付して是正のための必要な措置を取ることを請求することができる。

2 違反者は、前項の請求があったときは、これに従わなければならない。

(裁判所への提訴)

第11条 委員長は、違反者が前条第1項の請求に従わないときは、委員会の決定に基づき、工事の施工停止又は違反者が是正のために必要な措置をとることの強制履行若しくは違反者の費用をもって第三者にこれをなさしめることを裁判所に請求することができる。

2 委員長は、前項の請求を行ったときは、民事訴訟法の規定に基づき、当該請求に係る訴訟手続きに要した費用等の額を違反者に請求するものとする。

(土地の所有者等変更の届出)

第12条 土地の所有者等は、土地の所有権及び建築物の所有を目的とする地上権又賃借権を移転するときは、あらかじめその旨を委員長に届けなければならない。

(建築計画の事前届出)

第13条 土地の所有者等は、建築物を建築するとき又は用途変更をするときは、あらかじめ、建築計画を委員長へ届け出なければならない。

(協定の変更)

第14条 土地の所有者等は、協定区域、建築物に関する基準、有効期間、違反者に対する措置又は建築協定区域隣接地を変更しようとする場合は、その全員の合意をもってその旨を定め、これを横浜市長に申請してその認可を受けなければならない。

(協定の廃止)

第15条 土地の所有者等は、この協定を廃止しようとする場合は、その過半数の合意をもってその旨を定め、これを横浜市長に申請してその認可を受けなければならない。

(効力の継承)

第16条 この協定は、横浜市長の認可公告のあった日以降において、本協定区域内の土地の所有者等になったものに対しても、その効力があるものとする。

(有効期間)

第17条 この協定の有効期間は、横浜市長の認可公告のあった日から10年間とする。ただし、この協定の有効期間内にした行為に対する第10条および第11条の適用については、なお効力を有する。

附則

(効力の発生)

1 この協定は、横浜市長の認可公告のあった日から効力を発する。

(適用の除外)

2 この協定の認可公告のあった日（認可公告時に建築協定区域隣接地だった土地については、この協定に加わった日。以下に同じ。）に現に存する建築物又は現に建築、修繕若しくは模様替の工事中の建築物若しくはその敷地が第6条の規定に適合しない又はこの規定に適合しない部分を有する場合においては、当該規定は適用しない。

ただし、この協定の認可公告のあった日以後に、当該既存建築物を増築、改築、移転、大規模の修繕又は大規模の模様替にかかる建築物、建築物の敷地又は建築物若しくはその敷地の部分については、当該規定を適用する。

3 この建築物の用途を変更する場合は、前項の規定にかかわらず、第6条第1項の規定を適用する。

港南富士見台建築協定の締結に同意します。

平成 年 月 日

土地の表示（登記上の地番）

横浜市港南区下永谷2丁目 \_\_\_\_\_ 番地 \_\_\_\_\_ 号

横浜市港南区下永谷2丁目 \_\_\_\_\_ 番地 \_\_\_\_\_ 号

横浜市港南区下永谷2丁目 \_\_\_\_\_ 番地 \_\_\_\_\_ 号

土地の所有者等

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印